

教科・科目	総合・弟子屈探究	単位数	2単位(1・2年各1単位)	学年・学級	1年必修
使用教科書	なし		副教材	なし	

学校教育目標		郷土を愛し たくましく生きよう 自ら学ぶ意欲を持ち続けよう				
育成を目指す資質・能力	傾 聴 力	○	協 働 力	◎	議 論 する 力	◎
	自 省 力	○	理 解 力	○	批 判 力	○
	自己実現力	◎	表 現 力	◎	情 報 活 用 力	◎
学習の到達目標	・ 弟子屈町について総合的に学び郷土への愛着と理解を深めるとともに、地域の課題を探究しようと意欲的に調査や情報収集を行う態度を養う。 ・ 課題解決に向け協働しながら習得した知識や技能を活用する能力や思考力・判断力・表現力を向上させる。 ・ まとめや発表会を通して弟子屈町の魅力を効果的に発信できる専門的な技能を習得する。 ・ 自己の在り方や生き方と郷土との関わり方について主体的に考え、豊かな地域社会を築くために積極的に寄与する意欲と態度を身につける。					
評価の観点						
	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用 of 技能	④知識・理解		
A 使える	弟子屈町に関わる事象や課題に関心が高く、弟子屈町の文化や伝統の存在を広い視野から深く追求し、積極的に活動している。	弟子屈町に関わる複数の事柄を多面的・多角的に考察し、総合的に関連づけて主張できる。また、話し合いでは課題解決のために積極的に意見交換し、必要な内容を的確にまとめ、発表資料を作ることができる。	弟子屈町に関わる事象や課題を十分に理解できる資料やデータを用いて表現している。	弟子屈町に関わる事象や課題について、正確に理解し、詳細に説明できる。		
B わかる	弟子屈町に関わる事象や課題に関心を持ち、弟子屈町の文化や伝統の存在を大切に考えて追究している。	弟子屈町に関わる複数の事柄を総合的に関連づけて主張できる。また、話し合いでは課題解決に合った内容を進んで表現して、発表資料を作ることができる。	弟子屈町に関わる事象や課題を理解できる資料やデータを用いて表現している。	弟子屈町に関わる事象や課題について、理解し説明できる。		
C できる	弟子屈町に関わる事象や課題に関心を持って取り組んでいる。	弟子屈町に関わる事柄を的確に主張できる。また、その内容にもとづいた発表資料を作ることができる。	弟子屈町に関わる資料やデータを用いて表現している。	弟子屈町に関わる事象や課題について、理解している。		
D	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。		
具体的改善策	・ ワークシートの適切な記述 ・ 発表への取り組み	・ ワークシートの適切な記述 ・ 発表における適切な思考、判断、表現	・ ワークシートの適切な記述 ・ 適切な資料活用と分析	・ ワークシートの適切な記述 ・ 発表における適切な知識と技能の活用 ・ 適切な調査		
評価基準	①関心・意欲・態度 (点) A: 点 ～ 点 B: 点 ～ 点 C: 点 ～ 点	②思考・判断・表現 (点) A: 点 ～ 点 B: 点 ～ 点 C: 点 ～ 点	③資料活用 of 技能 (点) A: 点 ～ 点 B: 点 ～ 点 C: 点 ～ 点	④知識・理解 (点) A: 点 ～ 点 B: 点 ～ 点 C: 点 ～ 点		
	何で評価するか ・ 授業でのワークシート ・ 探究活動への取り組み ・ 探究活動後の振り返り	何で評価するか ・ 授業でのワークシート ・ 探究活動の内容	何で評価するか ・ 授業でのワークシート ・ 探究活動の発表	何で評価するか ・ 授業でのワークシート ・ 探究活動の発表		

【学習計画】

月	単元	学習の目標と【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	・オリエンテーション、探究活動のメソッド①	🌀 1年間の目標		
5	・基調講演（外部講師：弟子屈町の魅力について）	・ 1年間の弟子屈探究の流れや学習の進め方、評価方法、探究活動の意義について理解する。		
6	・ 弟子屈町の自然環境の成り立ちと生態系、環境保護などについて①	・ 弟子屈探究への学習意欲を高め、積極的に参加し、弟子屈町の魅力について理解する。（外部講師による講演） 【①、②、④：WS】		
6	・ 探究活動のメソッド②	・ 弟子屈町や川湯地域の地形・地質及びそこに生息する生き物についてまとめることができる。 【①、④：WS】		
6	・ 川湯の自然環境の成り立ちと生き物について①	・ 探究活動のメソッドを理解する。 【②：WS】		
6	・ 川湯の自然環境の成り立ちと生き物について②(巡検①)	・ 巡検の目標・調査方法・持ち物等がわかる。(巡検事前学習) 【④：WS】		
7	・ 川湯の自然環境の成り立ちと生き物について③、探究活動のメソッド③	・ つつじが原自然探勝路から硫黄山及びアカエゾマツの森の地質・動植物について主体的に学び、疑問や課題を発見することができる。(巡検①) 【①～④：WS】		
7	・ 屈斜路湖と釧路川の自然環境の成り立ちと生き物について①	・ 巡検での学びや、発見した疑問や課題をまとめることができる。 【②、④：WS、レポート】		
8	・ 屈斜路湖と釧路川の自然環境の成り立ちと生き物について②(巡検②)	・ 巡検の目標・調査方法・持ち物等がわかる。(巡検事前学習) 【④：WS】		
8	・ 屈斜路湖と釧路川の自然環境の成り立ちと生き物について③	・ カヌー及び釣り体験を通じて、屈斜路湖と釧路川の地質及び動植物について主体的に学び、疑問や課題を発見することができる。(巡検②) 【①～④：WS】		
8	・ 弟子屈町の自然環境の成り立ちと生態系、環境保護などについて②	・ 巡検での学びや、発見した疑問や課題をまとめることができる。 【②、④：WS、レポート】		
8	・ 探究活動のメソッド④	・ 外部講師に質問するなど、主体的に話をして疑問や課題を探究することができる。 【①、②、③：取り組みの様子、WS】		
		・ 各班で探究の課題（テーマ）を設定することができる。 【①、②：WS】		
		🌀 振り返り 【①～④：すべての授業】		
9	・ 探究活動のメソッド⑤、探究活動①	・ 設定した探究の課題（テーマ）に対し、仮説を立て、探究手法を学びどのように探究していくか計画を立てることができる。 【①、②、③：WS】		
10	・ 探究活動②	・ 主体的、協働的に探究活動を行うことができる。 【①：取り組み状況、WS】		
10	・ 探究活動③	・ その時間の目的、行ったこと、結果、気付いたことや困ったこと、次に行うこと等を記録し、探究活動を行うことができる。 【②、③、④：WS】		
11	・ 探究活動④	・ 巡検の目的や意義を理解し、調査方法、質問事項などについてまとめることができる。（巡検事前指導） 【②、④：WS】		
11	・ 探究活動⑤（巡検③）	・ 巡検等を通して、効果的な探究活動を行うことができる。(巡検③) 【①～④：WS】		
12	・ 探究活動⑥、発表会の準備①	・ 巡検での学びをまとめることができる。 【②、④：WS、レポート】		
12	・ 発表会の準備②	・ グループで討議し、探究した内容をパワーポイントにまとめ、ポスターに表現することができる。 【①～④：取り組みの様子、ポスター、WS】		
1	・ 中間発表	・ 中間発表を通して、テーマ、内容、進捗状況の確認や、発表の改善点などを発見することができる。 【①～④：取り組みの様子、ポスター】		
2	・ 発表会の準備③	・ 中間発表を通して気付いた、発表の反省点や改善点を協議し、ポスターや発表に反映させることができる。 【②、③：ポスター、WS】		
3	・ 発表会	・ グループごとに協力して探究活動での成果や学びを、相手に伝えるよう1年間の学習のまとめとして発表することができる。 【①～④：取り組み状況、ポスター、WS、自己評価】		
		🌀 振り返り 【①～④：すべての授業】		

🌀最終評価（自己評価／実際評価）

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解